



《地区別》南小学校区ハザードマップ

はんらん 「河川の氾濫」

注意事項

- 大規模な水害により、浸水が始まつてからの避難は危険です。浸水する前の「早め早めの避難」を心掛けましょう。避難できるのはひざ下までの浸水です。
- 浸水が始まつたら避難所までの無理な避難はせず、安全な建物の2階以上に避難(垂直避難)しましょう。
- 大規模な水害時には、河川が逆流する可能性があります。河川の近くには絶対に近づかないで下さい。
(伊勢湾台風の時に善太川が逆流したとの証言があります。)

過去の浸水履歴からみた特徴

- 昭和34年(1959年)9月の伊勢湾台風の時には、津島駅西の今市場町付近でもひざ下程度の浸水がありました。南から浸水し約2ヶ月水が引きませんでした。
- 南小学校の南側道路は水はけが悪く、しばしば浸水しています。平成12年(2000年)9月の東海豪雨の際にも50cmほどの浸水を経験しています。

河川氾濫による被害予測

- (木曽川の氾濫)………9頁参照。
- 住宅地については、おおむね1.0~2.0m以上、ところによっては3.0m以上の浸水が予想されています。
- (日光川の氾濫)………10頁参照。
- 大半の住宅地は1.0m未満と予想されていますが、一部では1.0m以上の浸水が予想されています。

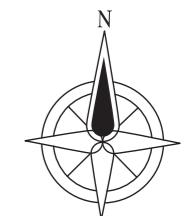
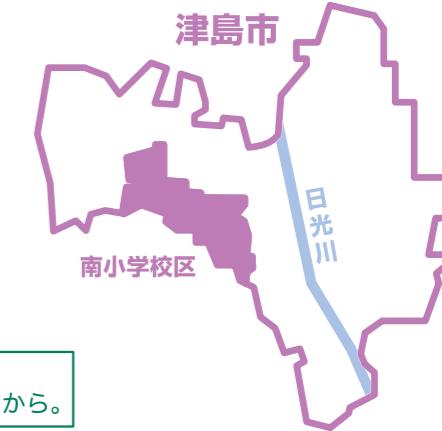
凡 例

◎ 警察署・交番	先行開設避難所	浸水想定箇所(水に浸かりやすい場所)
〒 郵便局	一次避難所	避難路
✚ 病院	二次避難所	海拔0mより低い避難路
● コンビニエンスストア	一時避難場所(協定企業)	善太川が渡れない場合の避難路 (暁中学校方向への避難路)
■ ガソリンスタンド	指定緊急避難場所	指定避難所
··· 緊急輸送道路		
● 標高表示電柱		



このハザードマップは、地区住民の皆さんとともにまち歩きをした成果をもとに作成したものです。

緑色で記した路線が、大規模な風水害発生時に基軸となる避難路です。



避 難 所	
避難所は南小学校が先行開設避難所として最初に開設されます。その後は災害対策本部の判断により、開設されることになります。	
No.	一 次 避 難 所
13	南文化センター【3階建】 今市場3-64
14	共存園保育所【2階建】 東洋町2-34
15	南小学校【3階建】(先行開設避難所) 常盤町4-20
24	暁中学校【3階建】 唐臼町団外1
No.	二 次 避 難 所
30	あたごこども園 東愛宕町2-83
No.	一 時 避 難 場 所 (協 定 企 業)
10	(株)そうぎょう 常盤町3-1-5
11	佐鳴予備校津島本部校 今市場町3-36-1